

福祉保健生活環境委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成29年9月2日（土）～9月4日（月）

◆調査先・調査内容

①奈良県立医科大学附属病院（奈良県橿原市四条町）

調査内容：奈良県立医科大学附属病院における障がい者就労支援の取組について

奈良県立医科大学では、人事課内に障害者雇用推進係を創設し、医療機関における障がい者雇用のモデルとなることを目指している。その方針は、自主性を持ち、主体性のある人材を育てることとし、特別支援学校等から実習を受け入れる際は、現場で働く障がい者自らが、担当する仕事を実習生に指導し、ジョブコーチは実習の指導の見守りサポートに徹している。

以前は看護補助員が行っていた大量のタオル折り業務を、知的重度の4名が受付から責任を持って遂行するなど、真面目で丁寧な仕事ぶりが各職場で評価され、ジョブコーチが適性を判断しながらマッチングを行い、その職域を広げている。

特別支援学校と病院を結ぶアート展も昨年度から開催し、医療・就労・アートを一体的につなぐ活動も行っている。

<主な質疑等>

- ・障がいのある方の適性を考慮した業務及び人員配置について



②東大寺大仏殿（奈良県奈良市雑司町）

調査内容：第32回国民文化祭・なら2017、第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 総合フェスティバルオープニング「開会式」

本県では、平成28年4月1日から「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」を施行し、障がいのある人に対する理解を深め、県及び県民の責務を明らかにし、障がいのある人もない人も相互に尊重し合いながら共生する社会の実現を目指している。

本年9月から11月にかけて開催される「国民文化祭・なら2017」は、全国で初めて「全国障害者芸術・文化祭なら大会」と一体的に開催され、共生社会の実現に向けて大きく前進することを期待される大会である。

今回の調査では、大規模イベント等における障がい者の積極的な参加を促進するため、奈良県が行う総合フェスティバルオープニング「開会式」について合理的配慮の実施状況を調査し、併せて障害者交流事業として開催された「ビッグ幡 in 東大寺」（障害者の描いた絵を旗にデザインし東大寺境内に展示）を視察した。



③中和保健所動物愛護センター（奈良県宇陀市大宇陀小附）

調査内容：動物愛護センター及びうだ・アニマルパークの業務概要について

奈良県では、平成20年度からアニマルパークを開園、同敷地内で動物愛護センターの供用を開始している。うだ・アニマルパークでは9.9haの敷地内に都市公園ゾーンと動物愛護ゾーンを備え、いのちの教育プログラムや遠足等の受入れを行っており、パーク内に設置されている中和保健所動物愛護センターは、事務・飼養棟、臨床・管理棟、わんにゃん舎及び屋外訓練広場を備え、動物の収容や保管、飼い主への返還や新たな飼い主への譲渡、動物の安楽死処分と焼却、感染症対策、相談・指導及び啓発事業等の動物に関する幅広い業務を行っている。

今回の調査では、先行する中和保健所動物愛護センター及びうだ・アニマルパークの業務概要とともに、動物譲渡事業や県民向け啓発事業等についても説明を受け、平成30年に完成予定のおおいた動物愛護センター（仮称）で予想される課題等の調査を行った。

<主な質疑等>

- ・譲渡講習会及び譲渡後の適正飼養確認の具体的手法について
- ・アニマルパーク、動物愛護センター等のランニングコストについて



④一般財団法人たんぽぽの家・アートセンターHANA（奈良県奈良市六条西）

調査内容：たんぽぽの家及びアートセンターHANAの業務概要について
全国障害者芸術・文化祭への関わりについて

一般財団法人たんぽぽの家は、アートとケアの観点から、多彩なアートプロジェクトを実施している市民団体である。奈良県等から多くの障がい者芸術活動支援等の業務を受託しながらも、福祉を前面に打ち出さない方針で活動を行っている。

同法人が運営するアートセンターHANAでは、奈良市内にスタジオやギャラリー、カフェ&ショップ、インフォメーションセンター等を有し、障がいのある人たちのコミュニティ・アートセンターとして機能している。また、企業等が制作するノベルティグッズ等に利用されるアート作品のレンタルやデザイン使用料を、障がいのある制作者に還元する事業も行っている。

今回の調査では、たんぽぽの家の事業概要や、障がいのある作家への新しい働き方の提案等について調査を行った。

<主な質疑等>

- ・障がいのある作家に必要とされる支援、アドバイス等について
- ・デザイン使用料やノベルティグッズ等について

